

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年12月06日

計画の名称	館山処理区における下水道整備による良好な環境の創造（防災・安全）													
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	館山市													
計画の目標	公共下水道施設の機能不全防止を図るため、ライフサイクルコスト最適化による改築更新を推進し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		215	A	215	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	持続可能な下水道事業の実施を図るため、「長寿命化対策工事」及び「ストックマネジメント計画」を策定し、計画的かつ効率的な長寿命化対策を行う。 「長寿命化対策工事」及び「ストックマネジメント計画」による終末処理場の改築達成率 改築が完了した施設数（箇所） / 改築が必要な施設数（箇所） × 100	57%	80%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	館山市	直接	-	終末処理場	改築	A1-1-4 鏡ヶ浦クリーンセンター終末処理場改築(長寿命化)	水処理設備・電気設備改築	館山市						75		策定済
	A07-002	下水道	一般	館山市	直接	-	終末処理場	-	A1-1-5 鏡ヶ浦クリーンセンター終末処理場長寿命化計画	調査	館山市						10		未策定
	A07-003	下水道	一般	館山市	直接	-	-	-	A1-1-7 館山市公共下水道ストックマネジメント計画	計画策定	館山市						36		未策定
	A07-004	下水道	一般	館山市	直接	-	終末処理場	改築	A1-1-8 鏡ヶ浦クリーンセンター終末処理場改築(ストックマネジメント)	汚泥処理設備・電気設備改築	館山市						34		策定済
	A07-005	下水道	一般	館山市	直接	-	終末処理場	改築	A1-1-9 鏡ヶ浦クリーンセンター終末処理場改築(ストックマネジメント)	水処理設備・電気設備・機械設備改築	館山市						60		策定済



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

計画策定主体の館山市（建設環境部）が館山市公共下水道事業について、社会資本整備総合交付金評価実施要綱に基づき実施する。事後評価の結果は、市議会議員や下水道区域内の区長及び各種団体長により構成される館山市下水道審議会に報告し、意見を求める。

令和5年11月

公表の方法

館山市ホームページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

老朽化した施設に継続的に資することで、健全な汚水処理を実施することが可能になり、公共下水道施設の機能不全防止を図ることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

引き続き「館山市公共下水道ストックマネジメント計画」に基づき、公共下水道施設の機能不全防止を図る。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%